

町長のワクチン接種に至るまでの経緯について

令和3年5月9日のワクチン接種会場において、町長もワクチン接種を行いましたので、接種に至るまでの経緯について報告いたします。

ワクチンの性質

- ① 接種の20～30分前までに解凍する。
- ② 一度解凍したワクチンは再度冷凍することはできず、使い切る必要がある。
- ③ ワクチンは1瓶で5人分摂取できる。

このような条件から、1日あたり最大4名分のワクチンの余りが出る可能性があったため、8日、9日の二日間で最大8名の方にキャンセルとなったワクチンの接種をお願いする場合がありますと想定していました。

この8名は、自治会長及び民生委員の年齢の高い順に町で選ばせていただき、事前に連絡をして了承を得て、自宅待機をお願いしていました。

ワクチン接種の状況は以下のとおりです。

5月8日（土）

接種会場：吉富町民体育館

接種時間：13時から16時30分まで

接種者数：240名（うち、待機者依頼分4名）

5月9日（日）

接種会場：吉富町民体育館

接種時間：13時から16時30分まで

接種者数：236名（うち、待機者依頼分4名、町長接種分1名）

※当日、医師会から別会場で使用して余った6本のワクチンを吉富町会場で使用して欲しいということで、そちらを優先的に使用したため、端数が1ずれています。

このように、8日と9日の二日間で、キャンセルによりワクチンが余った場合に接種をしてもらう可能性があった8名は全て、接種をお願いしたことになります。

このような中、9日の最後の時間帯（16:00～16:30）に接種を予約していた方

が会場に来なかったため連絡をしたところ、「体調がすぐれないのでキャンセルしたい」との返事があったため、終了間際に1人分のワクチンが余ってしまう事態になりました。

そこで、接種会場の閉鎖時間も迫っており、ワクチンを廃棄するわけにはいかないことから、本町のワクチン接種本部員（町長は本部員ではない。）において協議をし、花畑町長に接種をお願いしました。

花畑町長は、両日ともに接種会場において職員と共に案内や誘導などの作業をしており、また、今回国から配布されたワクチンは65歳以上の方用であったこともあり、スタッフの中で唯一65歳以上（花畑町長は65歳）である花畑町長が接種をするのが最良の方法であると判断しました。

以上が、花畑町長がワクチン接種をした経緯となります。

このように、1瓶で5名分のワクチンということから、2日間で8名の待機者がいればワクチンを廃棄してしまう事態にはならないと考えていましたが、医師会からのワクチンの提供や接種予約者の終了間際のキャンセルなどが重なり、結果として1本だけ余ったワクチンを、急きょ会場にいた65歳以上の先行接種対象者でかつ会場内の最高齢者である花畑町長が接種をしたということになります。

その後、全国的に首長の先行接種等が問題視されだし、また、吉富町長が先行接種をしたという情報が新聞やテレビで報道をされたことなどから、町民の皆様に対する透明性の確保の観点から事実を報告する必要があると考え、状況を報告させていただきました。

町としましては、ワクチンを廃棄することはできない中での最後の最後での急なキャンセルがあったための判断と考えています。予約ができなかった方のお気持ちを考えれば申し訳ないとも思っています。

今後もワクチン接種が続きますので、キャンセルで余ったワクチンを代わりに打ってもらう方などの取り決めに再度整理した上で、町民の皆様にご安全で安心なワクチン接種を実施して参りたいと考えていますので、引き続きコロナワクチンの終息に向けご協力くださいますようお願い申し上げます。

この件に関して不明な点がございましたら、吉富町役場未来まちづくり課（TEL0979-24-1122）までお問い合わせください。